

飼養衛生管理講習会で研究成果を報告

12 月 17 日、丹後王国「食のみやこ」において、(公社)家畜畜産物衛生指導協会が主催し、京都府ブロイラー協議会と京都府養豚協議会の共催により「飼養衛生管理講習会」が開催され、府内の養鶏・養豚農家、飼料メーカー、関係団体など、計 27 名が参加しました。

当センターからは、「畜産センターのこれまでの研究成果紹介～家畜伝染病に打ち勝つ、強い経営を目指す試験研究～」と題して講演を行い、畜舎へのネズミ侵入防止対策や車両自動消毒装置など、これまでに取り組んできた研究成果を紹介しました。

講演後には、「車両自動消毒装置は実際に農場等でも利用されているのか」といった質問が寄せられ、家畜防疫に対する参加者の関心の高さがうかがわれました。

当センターでは、今後もこのような場を通じて、府内の家畜防疫の向上に資する試験研究成果の普及に努めてまいります。



参加者に向けて試験研究成果を紹介